



平成 21 年度 第 2 回 役員会 議事録

日 時:平成 22 年 6 月 6 日(日) 14:30 ~ 16:30

場 所:喫茶室ルノアール(新宿区役所横店)

出席者:小林(洋), 吉田, 今宮, 小林(三), 海津, 橋本, 山田, 佐藤(貴), 佐藤(一)
(オブザーバー)坂代 (敬称略)

議題

1. 第 4 回総会会場と懇親会会場について
2. 役員交代の件について
3. 名簿照合の件(報告)
4. 会計報告のまとめ方の件
5. 新入会員の会費と現会員の整合について
6. その他
 - ・現役との話し合い報告(住所変更の連絡方法の件)
 - ・役員会後の懇親会開催の件

内容:

1. 第 4 回総会会場と懇親会会場について
 - ・この問題は今まで議論されてきたことですが, 現在の OB 会の予算ではそのために特別に費用を捻出することができない。また, ルノアールのような場所を使用することを考えても総会では会員から別途費用をとることは難しいため, 当面総会は代々木校舎で実施することにしたらどうか?
 - ・懇親会会場も今までの費用で抑えるためには参加者費用を 6,000 円前後(招待者分含)で抑えたい。従って, 今年の「新宿プリンス」が適当と考える。
 - ・議論の結果, 総会会場は当面, 代々木校舎で実施することになった。
また, 第 4 回総会後の懇親会は昨年と同じ「新宿プリンス B1 トリアノン」とすることになった。

上記会場の予約等は今宮, 佐藤(一)の両名で現地に直接行き, できるだけ早い時期に正式予約をすることになった。



2. 役員交代の件について

- ・かねてより、砂子君から「今年の 3 月で役員をおりたい」との申し出があった。従って、その代わりにわれわれの年代と佐藤貴仁君の年代のちょうど中間を埋める「坂代一郎」君に役員を引き受けていただければ、だんだんつながっていくと考える。

役員は全員賛同し、オブザーバーで参加した坂代君からも同意が得られ、砂子昭彦君に代わって坂代一郎君が新役員となった。

- ・なお、これに関連して副会長に役割担当を決めたらどうか？との意見が出され、それぞれの副会長は次の役割を担当することとなった。

小林洋氏	事務局, 会計
吉田邦行氏	総務
山田喬氏	庶務

3. 名簿照合の件(報告)

- ・別紙資料に基づき、佐藤より報告があった。現役と OB 会が共通の名簿を所持することが照合の条件と考え、現在まで現役が卒業年度ごとに分けていた 5 つのファイル(Excel)を一つのファイルにまとめ、卒業年度ごとに区分はタブシートで分けることにして、そのファイルをすでに現役に送ったことが報告された。

この問題に関しては他に次のような意見が出された。

- ・この名簿照合はあと、2~3 回は実施する必要がある。
- ・郵送等の発送業務を考えると、今後は「筆まめ」や「筆ぐるめ」などのようなソフトで管理する方法もあるのでは。
- ・本当は Access で管理すると一番いいと思うが。

4. 会計報告のまとめ方の件

- ・昨年か懸案になっていた会計報告の形式で、吉田氏から「貸借対照表」と「収支決算書」の原案が提示され、今後この形態で報告を行うこととなった。これは、今後のことを考えて一般的に通用する形式に則った形態にすることが必要との考えから、次回の会計報告から実施することになった。

5. 新入会員の会費と現会員の整合について

- ・古い部則の内容を見ると、先のことを踏まえて考えられているが、現在の現役の持つ部則は部分的に欠落している。従って、基本的な考え方を議論し、現役が納得した形で今後の運営を続ける必要がある。

— — — 議論の結果、吉田副会長が原案を作り、小林副会長に送り確認をとることになった。 — — —



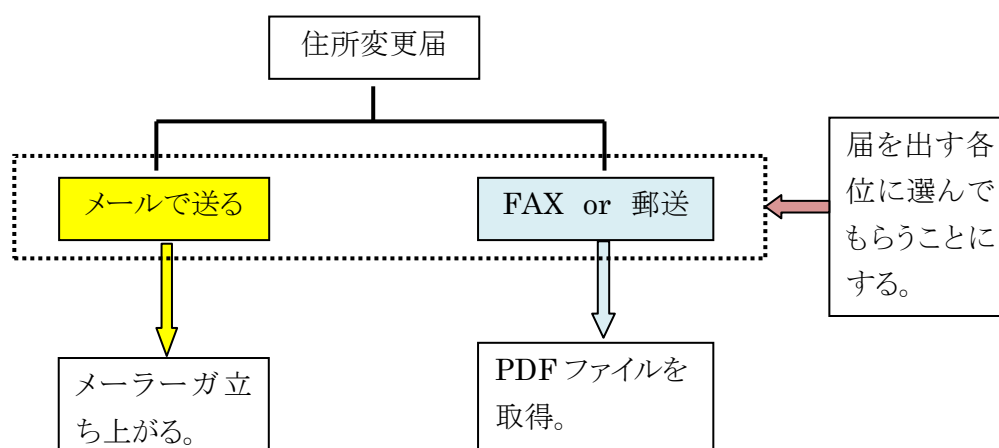
6. その他

- ・現役との話し合い報告(住所変更の連絡方法の件)

5月22日に現役の担当者とOB会役員と話し合った。

3月20日の合同役員会の折に指摘された「住所が変わった場合にどこに連絡したら良いか？」という点について話し合いの結果、現役のHPとOB会のHPに共通のボタンを作り対応することになった。

現状では下の図のように対応し、状況によって変更することにした。



*なお、「役員会後の懇親会開催の件」については、特に急ぐことではないので後日改めて検討することとした。

以上

当日配布資料, ならびに「5. 新入会員の会費と現会員の整合について」の原案を次ページ以降に添付します。



当日配布資料

1. 「貸借対照表」と「収支決算書」(基本フォーマット)

平成 年度 会費貸借対照表					
資産の部			負債・剰余金の部		
科目	金額	適用	科目	金額	適用
現金・預金			未払い金		
現金					
郵貯					
振替口座					
未収入金			前受け金(前納会費)		
平成 年度文会費					
			前期繰越金		
			当期剰余金		
			次期繰越金		
合計					



平成 年度 会費収支決算書

自:平成 年9月1日 至:平成 年8月31日

	項目	予算	実績	備考
収入の部	会費			
	当年度			
	未収金			
	雑収入			
	口座利息			
	収入合計			
支出の部	HP維持費			
	活動支援金(現役)			
	講師謝礼			
	通信費			
	会議費			
	消耗品費			
	交通費			
	懇親会補助			
	雑費			
	予備費			
	支出合計			
	当期収支差額			
	前期繰越金			
	次期繰越金			



2. OB 会会費徴収および入会時対応(案)

2010/06/07

OB 会会費徴収および入会時対応(案)

<<前提>>

1. すべての卒業生は、自動的にOB会に入会することとする。
2. 全現役部員は、毎月定額のOB会入会準備金を部費とともに納入することとする。
3. OB会入会準備金は、卒業時、放送研究部会計からOB会にOB会会費として納入することとする。
4. OB会会費は、年額2500円とする。
5. OB会入会準備金は、月額60円 4年間で2880円を積み立て、卒業時OB会会費として2500円を納入し、残額380円は、放送研究部OB会連絡通信費等OB会対応費用とする。
6. 納入済みのOB会入会準備金は、いかなる場合も返却しない。

<<OB会入会準備金徴収開始時の対応>>

2011年度4月徴収開始とした場合

項番	年次	積立月額	
1	1年生	60円	2011年度以降入学生
2	2年生	80円	2010年度入学生
3	3年生	120円	2009年度入学生
4	4年生	240円	2008年度入学生

<<放送研究部期中入部、退部対応>>

1. 期中入部者は、当該年の経過月数×積立月額を別途納入する。
2. 期中退部者の納入済みOB会入会準備金は放送研究部OB会対応費用380円をさし引いた残額をOB会に納入する。

<<OB会対応>>

1. 新卒入会者は4月1日をもってOB会会員とする。
当該年4月1日から8月31日までは会費不要とし、放送研究部から納入された会費はOB会次年度（当該年9月1日から翌年8月31日までの）会費に充当する。
2. 既卒者がOB会に入会する場合、当該年度の会費2500円を納入後OB会会員とする。